



募金百貨店プロジェクト 参加



1 食販売ごとに共同募金



募金百貨店プロジェクト参加の
覚書を交わした真鍋敏朗社長
(中央)と松為教輔社長(右)
＝1日午後、松山市久米窪田町

ジェイコムと名門サカイ参加

商品が売れるごとに、
企業から共同募金会に
寄付金が入る「募金百
貨店プロジェクト」で、
「真鍋敏朗社長(中山紘
治郎会長)は1日、ジ

エイコム(西条市、真鍋敏朗社長)、名門サカイ(宇和島市、松為教輔社長)の2社とプロジェクト参加の覚書を交わした。
2社は1日から、取り扱う「おかず箱」の商品が1食売れるごとに1円を共同募金会に寄付する。県内企業の参加は3例目。
ジェイコムは、長期常温保存が可能なレトルトのおかずを各家庭に置いてもらい、利用
分の料金を請求する「おかず箱」事業を2013年から展開。東予、中予地域の在宅高齢者の食をサポートしている。酒類飲料卸の名門サカイは、今年8月からジェイコムの事業パートナーとして宇和島圏域でおかず箱を販売している。

務理事が出席。真鍋社長は「毎日欠かさずことのできない食を通じて地域貢献を続けていきたい」と述べた。(門田龍二)

「おかず箱」ご利用者様

日頃のご愛顧、誠にありがとうございます。

12月1日から皆様が「おかず箱」の商品をお使いになると、赤い羽根に募金ができるようになりました。

赤い羽根の共同募金は、地域の福祉活動に使われます。(一部災害援助金に使われます)

地域福祉活動のための募金

ひとり、ひとりのやさしさが、
あなたの住む町を、もっと、やさしくしてくれます。

赤い羽根の募金活動は、町の人のやさしい
気持ちを集める活動です。

あなたのやさしさが、あなたの声かけが、
あなたの行動が、きっと、町を変えていく
はじめの一步となるはずです。
もっと、もっと、良いまちになりますように。

